

第18期町田市立図書館協議会

第1回定例会議事録（要旨）

日 時 2019年8月6日（火）10時～正午

場 所 町田市立中央図書館 6階中集会室

出席者 (委員) 澤井 陽介、松本 直樹、小澤 智幸、
清水 陽子、鈴木 真佐世、石井 清文、
吉田 和夫、小西 ひとみ、若色 直美
(事務局) 図書館長、図書館副館長、図書館担当課長、
中央図書館職員4名

欠席者 (委員) 岩田 哲生

傍聴者 1名

○事務局 ただいまから会議を開会する。定足数である過半数の出席を満たしているので会議は成立している。今回から第18期となる。机上の委嘱状を確認願いたい。

○館長挨拶 2年間よろしくお願ひします。今年度は、効率的・効果的な図書館サービスの方向性について意見を伺うことと、図書館評価をしてもらうことが主となる。他、委員の皆さんの気づいた点をお聞きして運営に反映させたい。

各委員自己紹介（出席委員全員）

事務局自己紹介（全員）

【委員長・副委員長の選任及び挨拶】

○事務局 条例で互選により、とあるが、初対面でいきなり立候補は難しいと思うので、皆さんがよろしければ事務局としては、学識の先生方で、

委員長は、澤井委員、副委員長は、松本委員に立候補をお願いできれば、と思うが。

- A委員 皆さんがよろしければ。
- B委員 私も。
- C委員 互選ということからすれば、みんなで相談はできないのか。
- 事務局 他の方を推薦、ということであれば選挙という形でもいいが。
- C委員 できれば委員のみの中で相談したい。
- D委員 正副委員長の中で、副委員長については、私としては今までの経緯がわかっている委員がいいのでは。例えば清水委員とか。
- 事務局 委員の皆さんは、清水委員をご推薦ということでもいいか。
- B委員 前期からの経緯ということで、委員の皆さんの合意があるのであれば清水委員がいいのでは。
- E委員 図書館評価も最終年度になってまとめもあるし、評価のやり方などを考える必要性からすると、今までの経緯がわかっている人がいいのでは。
- 事務局 では、清水委員の意向は？
- E委員 他の方の立候補がなければ私でもいい。
- 事務局 では、委員長に澤井委員、副委員長に清水委員ということによいか。

(全員拍手)

- 委員長 いろいろな変革の重要な時期だと認識した。清水委員や皆さん、そして図書館に詳しい松本委員の協力を得ながら進めたい。

○副委員長 よりよい図書館になるよう、皆さんと一緒に頑張っていきたい。

【事務局説明】

- ・配布資料について
- ・図書館協議会議事録の作成について
- ・会議での発言方法について
- ・傍聴について
- ・今年度スケジュール、主な審議事項について

○C委員 録音したテープは図書館の資料として公開してもらえるのか。要約となってしまうから。

○事務局 要約したものみの公開。録音テープの公開予定は無い。

○C委員 過去には、事務局での作成が難しくなって外部に委託し逐語訳になったが、今回からまた事務局作成に戻り要約となるので、どのタイミングでいただけるのか知りたい。

○事務局 なるべく次の定例会に間に合うように可及的速やかに議事録を作成し、皆さんに確認を依頼する。

○C委員 テープの公開は無理か。どの程度の議事録になるのかも含めてテープを聞きたい。

○事務局 どうしても委員の方が聞きたいようであれば、個別にご相談いただきたい。

○E委員 逐語訳から要約になったときに、どこが割愛されたかは重要。過去には当時の館長から逐語が原則と聞いたし、逐語訳でなければ、すべてのことが伝わっていかないのでは、こちらの思いも理解していただければ。テープは図書館の資料として保管できないのか。また簡易な音声ソフトを利用するとかは？

○事務局 次回までに再度確認・整理を行う。他の自治体も参考に。

- D委員 個人的に録音することは可能か？
- 事務局 一般的ではないが、確認する。
- F委員 今後のスケジュールについて。その都度調整できないのか。
- 事務局 4回目以降は、その都度調整する。
- C委員 日程を広報に載せてほしい。
- 事務局 今まで通り、掲載する。
ここから議事となるので進行を澤井委員長に願います。

< 議事 >

【「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」への意見について】

- 委員長 「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」について、事務局から説明願いたい。

～～事務局説明～～

○ 背景と経過

人口減少や超高齢化、施設の老朽化、税収の減少などの現状がある。

町田市5か年計画17-21で、「効率的・効果的な図書館サービスの提供」「8か所ある図書館の再編」を図書館の目標とした。教育委員会では生涯学習審議会に今後の図書館のめざす姿とあり方を諮問し、2019年1月に答申をいただいた。「めざす姿」と「再編時の留意点」について示された。それを元に教育委員会で2019年2月に「図書館のあり方見直し方針」が作成された。

「図書館のあり方見直し方針」の概要

1990年に中央図書館開館などで、現在8館ある。集客力・認知度は高い。

登録者数や貸し出し数は減少傾向。規模が類似の自治体とも比較し、市民ニーズを集約し、課題を4点抽出した。

- 1 図書館の適正配置の検討（利用圏域の重複について）
- 2 施設の老朽化への対応
- 3 貸出数の減少への対応
- 4 運営経費の適正化（現状 約 13 億円）

この 4 点をもとに、めざす姿と再編の必要性と方向性をまとめた。
具体的には、めざす姿として

- 1 あらゆる市民が利用しやすい図書館
- 2 子ども読書活動を充実させる図書館
- 3 地域のコミュニティ形成を支援する図書館
- 4 地域の課題や社会状況の変化に対応する図書館
※学校や地域との連携が重要。

また、再編の必要性と方向性については、

- 1 総量の適正化や集約化の検討
- 2 他の機能との複合化の検討
- 3 再編検討図書館の方向性

2026 年度までを目安に鶴川図書館と鶴川駅前図書館、さるびあ
図書館と中央図書館の集約化の検討
木曾山崎図書館と金森図書館の複合化については長期的な検討となる。

再編を進めるうえでの留意点として、

- 1 サービス利用の格差が生じることのない再編の検討
- 2 図書館の機能や役割の維持
- 3 新たな利用者の獲得につながる再編の検討
- 4 コミュニティの核となる地域住民や利用者との対話
- 5 運営体制検討の視点

が挙げられる。

4つのめざす姿と再編の必要性と方向性を実現するために、2019 年度
中に「効率的・効果的な図書館サービスの方向性」を決定する。

具体的には、

- 1 図書館サービスの見直しのアクションプランの作成
- 2 資源を生かした新しい運営体制を作るアクションプランの作成

上記アクションプランを作るに当たって協議会から意見をもらいたい。

○目標年次について、
2023年度といたしたい。ただし、中長期的展望も描く。

○ご意見をいただきたい内容について
図書館サービスのアクションプラン
2023年度まででなく、2024年度以降についても。

次回の協議会でぜひ意見をもらいたい。

もう1つ。運営手法の比較を詳細かつ慎重に検討する必要あり。次回資料を示すので、第3回の協議会で意見をもらいたい。

最終的には、1月頃の第4回の協議会で最終案を確認し、2月頃の教育委員会に諮りたい。

○委員長 今日説明を中心に共通理解ということで、次回が図書館サービス、第3回が運営手法等について意見をいただくということになる。何か確認・質問はあるか？

○B委員 運営基本方針と運営理念の関係は、どのようになっているのか。理念は目標に紐づく形となっていると思うが。この関係を教えてほしい。

○事務局 運営理念については、このような目標を掲げて2013年に作られたもので、その理念は継承しつつ、図書館を取り巻く状況や課題を抱えていく中で、特にこの分野に力をいれていくのが運営基本方針となる。

○B委員 アクションプランとめざす姿は紐づくものか。

○事務局 めざす姿は紐づくものである。
4つのめざす姿に整理して示していきたい。

○C委員 資料の提供はここまでか。運営手法の資料は次回の協議会の時にもらえるのか。

- 事務局　めざす姿はこれのみの予定である。運営手法については、次回提示する。
- C委員　どんな内容の資料がもらえるのか。
- 事務局　比較の意見が欲しいので、図書館側で考えられる直営・民営のメリット・デメリットを示したものの予定である。例えば、着目点、コストの面などから。
- 委員長　いろいろな視点ということか？
- 事務局　その通り。素案を提示して意見をいただきたい。
- E委員　協議会の回数が減っているので、資料は前もっていただきたい。
- 事務局　1回前の会でお渡しするが、もっと前に欲しいということか？
- E委員　それを作成するのに参考にした資料なども欲しい。
- 事務局　基本的には生涯学習推進計画に基づいたものである。あとは生涯学習審議会での審議結果となる。
- 委員長　結果だけでなく、プロセスも含めて、これを作った基礎資料が欲しいということかと思う。
- 事務局　いくつかの自治体のサービスの状況などでいいか？
- E委員　電子書籍サービスなどのことも含めて、どこまで図書館がとらえているのか知りたい。
- 事務局　市の教育委員会の計画の中で示したものである。でも細かいところまでは描いていないので、どういう手法でやっていくか具体的な意見が欲しい。現状での詳しいことは、生涯学習推進計画である。
- G委員　生涯学習審議会の代表としてこの会に出席しているので、計画の状況について簡単に説明する。2019年1月に答申をした。審議の回

数が少ない中で、図書館のあり方を答申している。第3期生涯学習審議会の答申内容は、HPに掲載されているのでご確認いただくといいかと思う。アクティブラーニングとか、小・中・高の問題、教員のあり方など、学校教育も生涯学習も外国人問題も、大きく社会状況が変化している。現状にとらわれずに、今後の図書館のあり方は全体の中で考えていく必要がある。

- F委員 運営手法の比較について。メリット・デメリットについてはどこの団体と比較をしたのか、具体的なことを示してほしい。
例) どこの団体をモデルにしたかがわかれば実際に行ってみることができる(→行ってみて肌で感じることもあると思うので)

【2018年度図書館評価の外部評価について】

- 委員長 次に「2018年度図書館評価」について事務局から説明願いたい。

～～事務局説明～～

図書館法改正をうけて、2009年度からスタートした。自己評価のみではなく、外部評価をしてもらうようになり、外部評価をこの協議会にお願いしている。2017年度までの評価は終わっているので、2018年度の評価を今協議会でお願いしたい。次回、資料提示する。詳細は次回説明するが、「効率的・効果的な図書館サービス」のほうをメインとし、評価は簡素化を考えている。

- C委員 8月中にデータをもらうのは難しいのか。

- 事務局 難しいので、やり方も含めて次回提案させていただきたい。

【第4期町田市生涯学習審議会委員の推薦について】

- 委員長 次に「生涯学習審議会委員の推薦」について事務局から説明願いたい。

～～事務局説明～～

教育委員会の諮問に応じて審議する会議である。図書館協議会から1名推薦している。協議会の代表として出席いただくので、事務局としては図書館協議会のことを熟知している清水副委員長を推薦したい。

○委員長 事務局は清水副委員長を推薦ということだが、清水副委員長はいかがか。

○E委員 了解です。

○委員長 他に推薦などなければ清水副委員長でお願いしたい。

(全員拍手) ～清水委員挨拶～

【図書館からの報告】

○委員長 次に「図書館からの報告」について事務局から報告願いたい。

～～事務局報告～～

まず教育委員会定例会の報告を。7月5日定例会では、議案として図書館協議会委員委嘱を提出し承認された。また報告事項としてPOPコンテスト町田の実施(7月12日から9月29日)を伝えた。8月2日の定例会では図書館関係の内容は無かった。

次に、第17期の図書館協議会委員の方から、最終回の席でいただいた要望については、可能な限り事前に協議会に諮りたい。ただし、町田市議会に諮ることについては難しい。

○C委員 今年度は難しいとしても、次年度は協議会の回数、議事録がもとの状態に戻るようお願いしたい。

○事務局 厳しい予算の中でとなるが、図書館全体の予算の中で調整していきたい。

【その他】

○委員長 「その他」何かあるか。

(特になし)

○委員長 議事は終了したので、事務局にお返しする。

○事務局 次回は9月27日です。よろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

終了